

コメント

1. RSウイルス感染症

28人(定点当り11.17人)となっています。年齢別では、0歳児19人、1歳児6人、2歳児2人、3歳児1人となっています。

2. 咽頭結膜熱

19人(定点当り0.79人)となっています。年末年始の医療機関の休診を考慮すると、この時期としてはかなり多いと考えられます。

3. インフルエンザ

18人(定点当り0.49人)となっています。

(注)第1週は、定点医療機関の年末年始休診の影響のため、全般に報告数が少なくなっています。

このことを考慮して、各疾患の増減の評価及び「5類感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	18	0.49	3.67		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	19	0.79	0.06		流行性耳下腺炎	3	0.13	1.30	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.71	0.59		RSウイルス感染症	28	1.17	0.29	
感染性胃腸炎	162	6.75	8.78		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	31	1.29	2.52		流行性角結膜炎	9	1.13	0.83	
手足口病	-	-	0.10		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	2	0.08	0.09		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発疹	7	0.29	0.43		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	1	0.04	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.02						

急増減   前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減   前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減

微増減   前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減

横ばい  ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は過去3年間)の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第49週	19	8	44	470	37	1	1	13	-	-	3	16	-	6	1	-	10	-	-
		第50週	19	14	54	446	54	2	12	17	1	-	6	34	-	7	-	1	6	-	-
		第51週	14	14	41	397	54	2	9	6	-	-	7	52	-	5	-	-	3	-	-
		第52週	29	9	36	238	55	-	10	16	-	1	3	55	1	2	-	-	4	-	-
		第1週	18	19	17	162	31	-	2	7	-	1	3	28	1	9	-	-	1	-	-
定点 当り	広島市	第49週	0.51	0.33	1.83	19.58	1.54	0.04	0.04	0.54	-	-	0.13	0.67	-	0.75	0.14	-	1.43	-	-
		第50週	0.51	0.58	2.25	18.58	2.25	0.08	0.50	0.71	0.04	-	0.25	1.42	-	0.88	-	0.14	0.86	-	-
		第51週	0.38	0.58	1.71	16.54	2.25	0.08	0.38	0.25	-	-	0.29	2.17	-	0.63	-	-	0.43	-	-
		第52週	0.81	0.39	1.57	10.35	2.39	-	0.43	0.70	-	0.04	0.09	2.39	0.13	0.25	-	-	0.57	-	-
		第1週	0.49	0.79	0.71	6.75	1.29	-	0.08	0.29	-	0.04	-	1.17	0.13	1.13	-	-	0.14	-	-
全国		第51週	0.26	0.58	2.20	16.41	2.19	0.46	0.42	0.54	0.01	-	0.04	-	0.03	0.69	0.02	0.04	0.66	0.01	0.01
		第52週	0.32	0.57	1.94	11.31	2.97	0.40	0.46	0.57	0.01	-	0.03	-	0.01	0.63	0.02	0.02	0.52	-	-

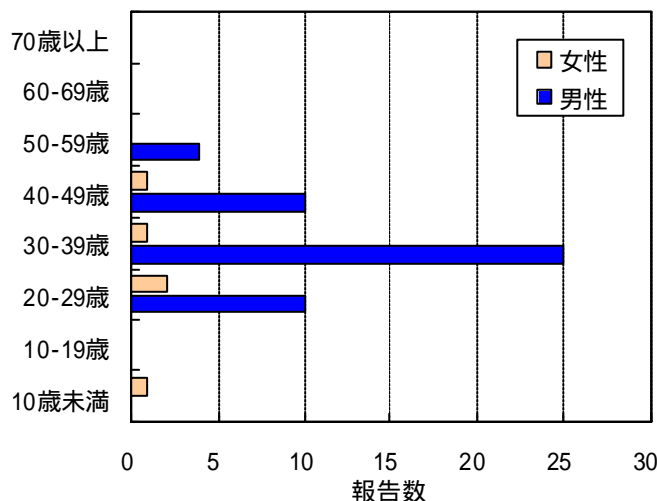
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	1	女	2006/11/16	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	男	2006/11/17	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	女	2006/11/21	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	女	2006/11/25	糞便	ノロウイルスG2群

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の発生動向 (2)

年齢別・性別報告数 (2000年～2006年)



グラフは2000年から2006年までに報告された54件を、年齢別・性別に示したものです。

年齢別では20歳代～40歳代が49件と多く、特に30歳代が26件と約半数を占めています。

また、男女別では男性が49件と多く、約9割を占めています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第1週(1月1日～1月7日)